

新緑の映える大自然を満喫

第15回但馬中央山脈縦走大会

五月三日、四日の二日間、妙見山から蘇武岳を経て三川山に至る約三十二キロを歩く、第十五回但馬中央山脈縦走大会が行われました。

当日は、幼児から八十一歳のお年寄りまで、市内や但馬、さらには近畿一円より百七十一人が参加。名草神社三重の塔前で出発式が行われ、全員ががんばるぞ、オー！の掛け声を発した後、健脚コースと自然観察コースに分かれスタートしました。

金山峠からは、登山道コース

標高1000以上の尾根を歩く

と林道コースに分かれて蘇武岳頂上を目指しました。蘇武岳頂上ではほとと一息ついた後、最後の難関、奥神鍋ゲレンデを下り参加者は午後四時頃日高町山田に到着。夕食を兼ねた交流会では、スタッフが揚げた山菜の天ぷらを囲んで、今日の出来事の話がはずみでした。

二日目はあいにくの雨模様でしたが、三川山山頂で記念写真を撮った後、イワカガミヤシャクナゲが咲く山道を下山。午後二時頃、全員無事にゴールの三川権現に到着し、二日間の行程を終えました。



名草神社三重の塔前からスタート

第6回氷ノ山・鉢伏山新緑登山大会



装備を整え八チ高原を出発する参加者

氷ノ山・鉢伏山の夏山開きも

五月三日、八チ高原で地元の観光関係者と八チ高原を訪れた観光客約七十人が参加して氷ノ山・鉢伏山の夏山開きが行われ、夏山シーズンの安全と多くの入山者が訪れるよう夏山繁栄の祈願がされました。

午後からはパラグライダー体験やネイチャーゲームなど自然豊かな八チ高原を利用した催しが行われました。

翌四日には六回目となる氷ノ山・鉢伏山新緑登山大会（同実行委員会主催）を開催。兵庫県

の最高峰・氷ノ山標高一五一七(丸)をめざす健脚向きの、イヌワシコースと鉢伏山から東鉢伏を回る登山初心者向きの、かめコース、うさぎコースに市内外から参加した約九十七人が挑戦しました。

当日はあいにくの天候に見舞われ足元と視界の悪い中での登山となりましたが、参加者は登山装備を身に付け、それぞれのペースで新緑の美しい大自然を満喫していました。

下山後には温かいぜんざいを食べながら、登山の感想を語り合っていました。

養父市農業委員会の役員体制決まる

会長に和田悦男氏



和田悦男会長(三宅)

四月二十二日に養父市市役所議事堂旧大谷小学校体育館で行われた第一回養父市農業委員会総会において役員選出が行われ、会長に和田悦男さん(三宅)が就任されました。

養父市農業委員会の役員構成は次のとおりです。

【役員構成】(敬称略)
 会長 和田悦男(三宅)、会長職務代理者 加藤勤八(鹿町伊佐)、農地部会長 井上春巳(稲津)、農政部会長 石田齊(大屋町宮本)、農地部会長職務代理者 井原為之(大屋町中間)、農政部長職務代理者 齋藤節夫(八鹿町上小田)